OLYMPUS®

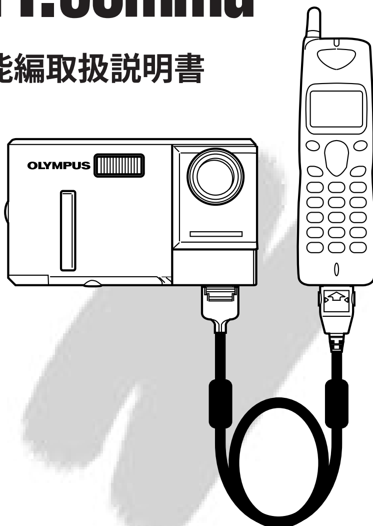
CAMEDIA

デジタルカメラ

C-21T.commu

通信機能編取扱説明書

- 通信機能を使った楽しみ方
- 準備をしましょう
- 送受信のしかた
- 付録



■通常のカメラ機能に関しては、別冊のカメラ機能編取扱説明書をお読みください。

はじめに

このたびはオリンパス　デジタルカメラをお買上げいただき、ありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。
実際に外出先でご使用になる前に、使用される組み合わせで伝送の確認をされることをおすすめします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。
・ラジオやテレビジョン受信機からカメラを十分に離してください。
　詳しくは、オリンパスサービスステーションへお問い合わせください。

本取扱説明書をお読みになる前に

●本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
●本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
●本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りします。
●本製品の不適当な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
●本製品の故障、オリンパス指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
●電話による伝送は、回線状態により回線切断等が起きる可能性があります。特性をよくご理解の上、ご使用ください。

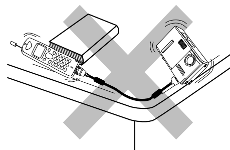
商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

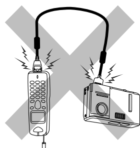
安全にお使いいただくために

お取り扱いについて

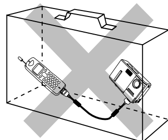
・本製品を不安定な場所に置かないでください。落ちて故障の原因となることがあります。



・本製品に携帯電話/PHSを接続していて、それらを持ち上げる際は、必ず両方を同時に持ってください。片方だけ持ち上げると接続が外れ、落ちて故障の原因となることがあります。



・本製品を持ち運ぶとき、また長時間使用しないときは、必ず接続ケーブルや携帯電話/PHSを取り外してください。強い力がかかり接続端子などを傷め、故障の原因となります。



・本製品の携帯電話/PHS接続機能は、NTT DoCoMo製の電話を日本国内で使用する目的に設計されていますので、**海外では使用できません。**

・本製品を、飛行機内や病院内など携帯電話/PHSの使用を禁止されている場所では使用しないでください。

携帯電話/PHSについて

・携帯電話/PHSは、飛行機内や病院内などでは使用が禁止されています。詳しくは各機関にお問い合わせください。また、胸部（胸ポケット）に入れて使用すると、ペースメーカーに悪影響を及ぼすことがあります。バックなどに入れて携帯してください。

・携帯電話/PHSには、使用可能な範囲を示すサービスエリアがあります。詳細は、NTT DoCoMoのカタログ等でご確認ください。

目次

はじめに......2
電波障害自主規制について......2
本取扱説明書をお読みになる前に......2
商標について......2
安全にお使いいただくために......3
お取り扱いについて......3
携帯電話/PHSについて......3
目次......4
主な特長......6

1 通信機能を使った楽しみ方......7
通信モードの組み合わせ......8
通信モードの種類......12
通信モードの使用例......14
携帯電話・PHSを使った便利な機能......22
携帯電話・PHSを使った便利な機能......22
携帯電話を使った便利な機能......22

2 準備をしましょう......23
CAMEDIA Comをインストールしましょう......24
カメラの通信設定をしましょう......25
ボタンの使い方......28
操作の流れ......29

3 送受信のしかた......31
Eメール送信及びダイヤル送信のしかた......32
カメラに携帯電話／PHSを接続します......32
暗証番号を入力します......33
通信モードを選択します......34
送信する画像を選択します......35
通信方法を選択します......38
通信相手を選択します......39
送信します......41
通信モードを終了します......42

待受け送信のしかた............43
カメラに携帯電話/PHSを接続します............43
暗証番号を入力します............43
通信モードを選択します............43
送信する画像を選択します............43
通信方法を選択します............43
電話を待って送信します............44
Eメール受信及びダイヤル受信のしかた............46
カメラに携帯電話/PHSを接続します............46
暗証番号を入力します............46
通信モードを選択します............46
通信方法を選択します............46
通信相手を選択します............47
受信します............48
通信モードを終了します............50
待受け受信のしかた............51
カメラに携帯電話/PHSを接続します............51
暗証番号を入力します............51
通信モードを選択します............51
通信方法を選択します............51
電話を待って受信します............52
遠隔制御のしかた............54

4 付録............57

使用できる携帯電話／PHSの組み合わせ............58
使用できる電話とモデムの組み合わせ............59
Q & A............61
修理に出す前にお確かめください............62
エラーコードとその他の表示............66
用語の説明............68
仕様（通信機能）............71

主な特長

・デジタル携帯電話とPHS両方の通信I/Fを内蔵。電話とカメラを別売の専用ケーブルで接続するだけで、撮影画像をモバイルで自由に送受信することができます。＊

・多彩な通信モード
　・Eメールに画像を添付して、データの送受信ができます。（P. 32～42送信、P. 46～50受信）
　・プロバイダを通さずに、相手に電話をかけてダイレクトに画像の送受信ができます。（P. 32～42送信、P. 46～50受信）
　・送信する画像は、用途に合わせてサイズ変換及びトリミングが可能です。（P. 36）
　・遠隔制御機能搭載＊＊で、遠方に設置したカメラの撮影をパ ソコンから制御。定点観測などに最適です。（P. 54）

・メッセージ機能搭載
送信する画像にメッセージを入れることができます。（P. 37）

・パスワード機能搭載
他の人が勝手に使用できないセキュリティー設計になっています。（P. 33）

＊　本カメラで再生できない画像及びTIFF画質モードで撮影した画像の転送はできません。
＊　使用できる携帯電話は、NTT DoCoMo製9600bpsデータ通信に対応したデジタル携帯電話に限ります。パケット方式には対応しません。
＊　使用できるPHSは、NTT DoCoMo製32kbps/64kbps対応で、データ通信端子を持つ機種に限ります。
カードI/Fのものには対応しません。
＊　対応機種でも、使用できないものや機能が制限されるものがあります。
＊　組み合わせについては、P. 58/59をご覧ください。
＊＊24時間連続運転等、過酷な条件でのご使用はお避けください。

CAMEDIA

1

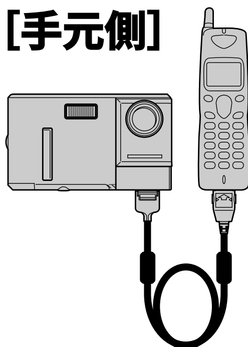
通信機能を使った楽しみ方

OLYMPUS DIGITAL CAMERA

通信モードの組み合わせ

[Eメール送受信]

[手元側]



ダイヤル送信
(Eメール送信)

電話を

画像を

ダイヤル受信
(Eメール受信)

電話を

画像を

[相手側]



かける

送る

プロバイダー経由 Eメール受信

かける

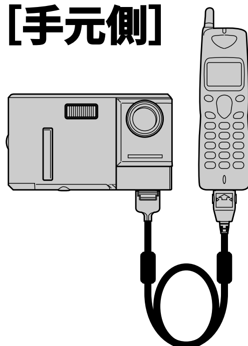
送る

プロバイダー経由 Eメール送信

通信モードの組み合わせ（つづき）

[直接送受信]

[手元側]



ダイヤル送信

電話を

画像を

ダイヤル受信

電話を

画像を

遠隔制御モード

電話を

画像を

[相手側]



かける

送る

待受け受信

かける

送る

待受け送信

かける

送る

遠隔制御
(CAMEDIA Com)

通信モードの種類



…通信相手に電話をかけます。　**送信**.....通信相手に画像を送ります。



…通信相手から電話をもらいます。　**受信**.....通信相手から画像を受け取ります。

Eメール送信モード



契約しているプロバイダに電話して、Eメールで画像を送信します。
[使用例 1.（P. 14～15）]

ダイヤル送信モード（直接送信）



受信側のC-21T.commuに接続した携帯電話/PHSに直接電話して画像を送信します。受信側は、カメラを「待受け受信モード」に設定します。
[使用例 2.（P. 16～17）]

待受け送信モード（直接送信）



受信側からC-21T.commuに接続した携帯電話/PHSに直接電話がかかった時点で、あらかじめ選択しておいた画像を自動的に送信します。受信側は、カメラを「ダイヤル受信モード」に設定します。
[使用例 3.（P. 18～19）]

Eメール受信モード



契約しているプロバイダに電話して、Eメールで画像を受信します。
[使用例 1.（P. 14～15）]

ダイヤル受信モード（直接受信）


かける

送信側のC-21T.commuに接続した携帯電話/PHSに直接電話して画像を受信します。送信側は、カメラを「待受け送信モード」に設定します。
[使用例 3. （P. 18〜19）]

待受け受信モード（直接受信）


うける

送信側からC-21T.commuに接続した携帯電話/PHSに直接電話がかかった時点で自動的に画像を受信します。送信側は、カメラを「ダイヤル送信モード」に設定します。
[使用例 2. （P. 16〜17）]

遠隔制御モード（直接受信）


うける

遠隔制御機能により、場所の離れたパソコンから撮影・画像の転送等が可能です。
[使用例 4. （P. 20〜21）]


メモ

- **直接送信と直接受信の場合、相手側はC-21T.commuに接続した携帯電話/PHSの他に、同梱のソフトウェアCAMEDIA Comをインストールした DOS/Vパソコンと一般回線電話のモデム又はISDN回線＋TA（ターミナルアダプタ）という組み合わせでもご使用になれます。（P. 58）**

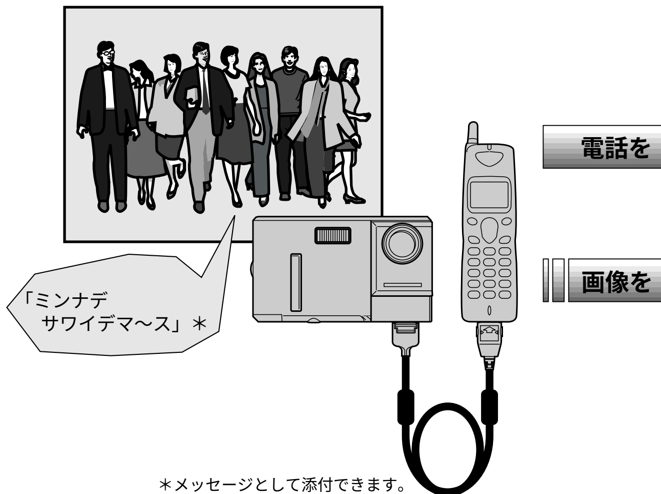
通信モードの使用例

送信モードと受信モードの組み合わせには、以下の5通りがあります。使用できる携帯電話/PHSの組み合わせについては、P. 58をご覧ください。

使用例1　Eメール送信 → Eメール受信

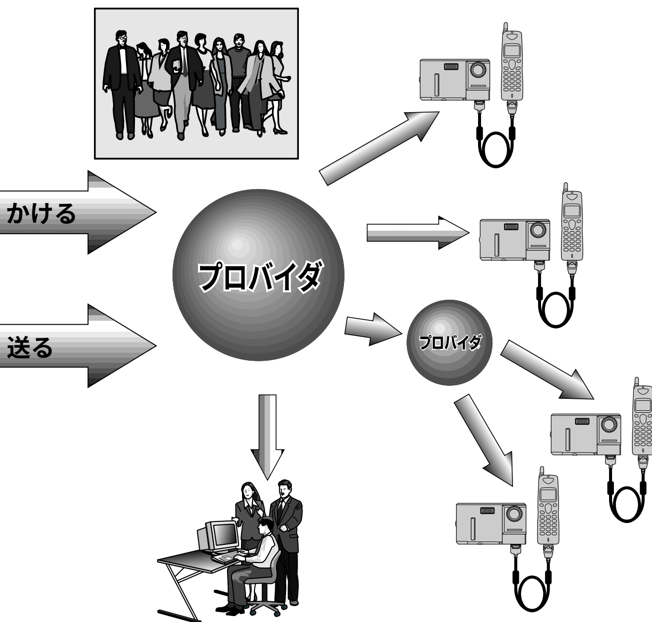
Eメール送信

Eメール送信では、Eメールの添付ファイルとして、１度にたくさんの相手に画像を送信できます。（P.32参照）



Eメール受信

Eメール受信では、パソコンなしでEメールの受信ができます。もちろん、パソコンでの受信もできます。（P.46参照）



通信モードの使用例（つづき）

使用例2　ダイヤル送信→ 待受け受信

ダイヤル送信

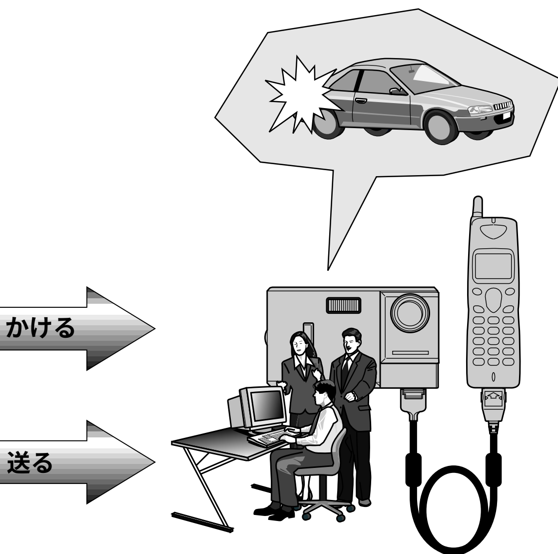
ダイヤル送信では、相手に直接電話をかけて状況を瞬時に伝えることができます。（P.32参照）



＊メッセージとして添付できます。

待受け受信

待受け受信では、カメラを待受け状態に設定しておくと、電話がかかった時点で自動的に画像を受信できます。また、同梱のソフトウェアCAMEDIA Comをインストールした DOS/Vパソコン+一般回線電話のモデム又はISDN回線とTA（ターミナルアダプタ）の組み合わせでも受信できます。（P.51参照）

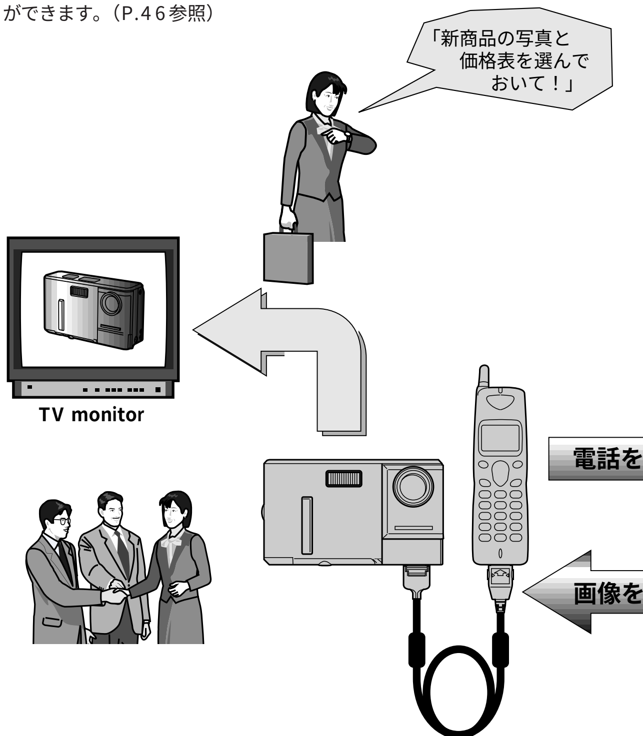


通信モードの使用例（つづき）

使用例3　待受け送信→ ダイヤル受信

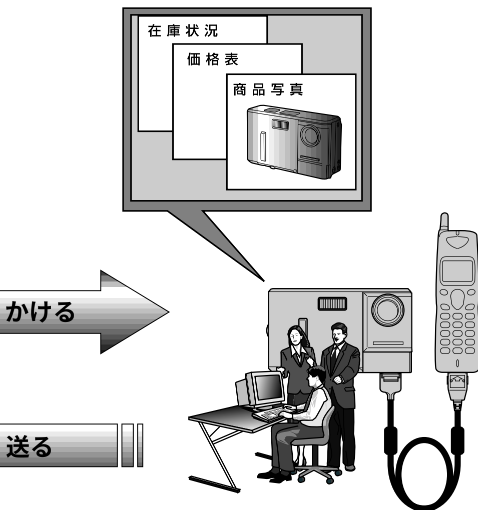
ダイヤル受信

ダイヤル受信では、相手に直接電話をかけて必要な画像を受け取ることができます。（P.46参照）



待受け送信

待受け送信では、カメラを待受け状態に設定しておくと、電話がかかった時点で自動的に画像を送信できます。また、同梱のソフトウェアCAMEDIA ComをインストールしたDOS/Vパソコン+一般回線電話のモデム又はISDN回線とTA（ターミナルアダプタ）の組み合わせからでも送信できます。あらかじめ送信する画像を選択しておく必要があります。（P.43参照）

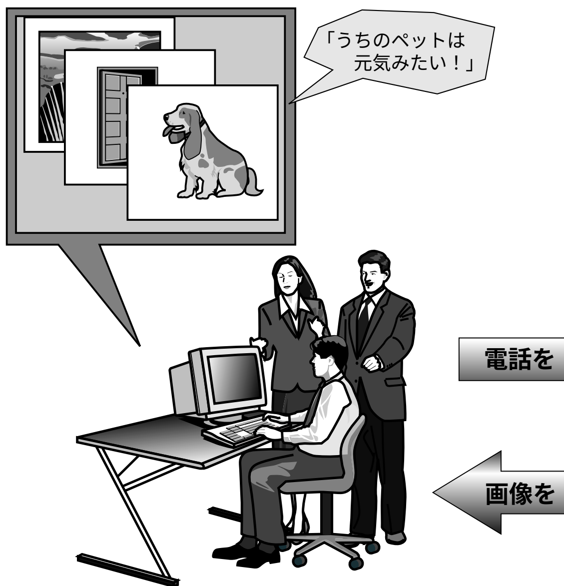


通信モードの使用例（つづき）

使用例４　遠隔制御→ 遠隔制御

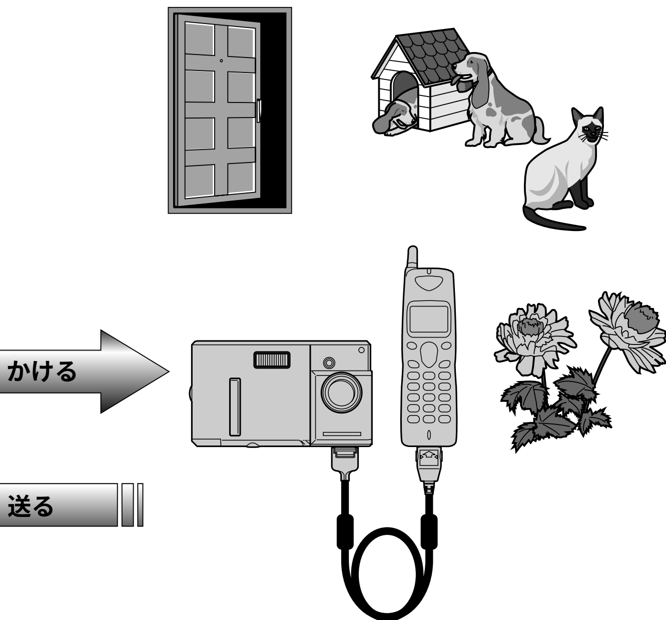
遠隔制御

同梱のソフトウェアCAMEDIA Comを使って、パソコンから電話をかけてカメラを操作し、画像を受け取ることができます。（CAMEDIA Comオンラインマニュアル18章参照）



遠隔制御

カメラを三脚等で固定し、遠隔制御モードにしておけば、パソコンからの電話を自動的に受けて撮影から画像の送信までを行うことができます。（P.54参照）



携帯電話・ＰＨＳを使った便利な機能

携帯電話・ＰＨＳを使った便利な機能

携帯電話・ＰＨＳのメモリダイヤルに登録した「電話番号」が、直接送信の通信相手として利用できます。

操作方法

1. 携帯電話・ＰＨＳのメモリダイヤルの番号１１０番から１１９番エリアに直接送信の通信相手の電話番号を登録してください。
2. 上記の登録を行っておけば、画像の送信相手選択時、電話帳表示画面で、その番号がスマートメディアに登録されている電話番号と共に表示されます。

注意　**・携帯電話・ＰＨＳの機種によっては、この機能をご使用になれない場合があります。**

携帯電話を使った便利な機能

携帯電話のメモリダイヤルに登録した名前の「フリガナ」が、送信する画像にメッセージとして添付できます。外出先で急にメッセージを登録する場合に便利です。

操作方法

1. 携帯電話のメモリダイヤルの番号１００番から１０９番エリアの「フリガナ」を入力する所にメッセージを１６文字以内の半角カタカナで入力してください。「名前」、「電話番号」は適当に意味の無いものを入力します。
2. 上記の登録を行っておけば、送信画像選択時に情報表示ボタンを押した時、そのメッセージがスマートメディアに登録されているメッセージと共に液晶モニタに表示されます。

注意
- **携帯電話の機種によっては、この機能をご使用になれない場合があります。また、ＰＨＳでは、ご使用になれません。**
- **メッセージを全角で入力すると、正常に表示されません。**

2

準備をしましょう

CAMEDIA Comをインストールしましょう

通信で「暗証番号」、「アドレス帳」、「電話帳」、「メッセージの添付」の機能を使うためには、同梱のソフトウェアCAMEDIA Comをパソコンにインストールして、スマートメディアにそれらの設定を書き込む必要があります。





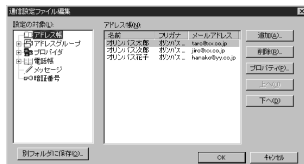
操作方法

1 CAMEDIA Comの中のSetup.exeを開いて、画面の指示通りにインストールを行い、終了後はパソコンを再起動させてください。詳細は同梱のインストールガイドをお読みください。

カメラの通信設定をしましょう

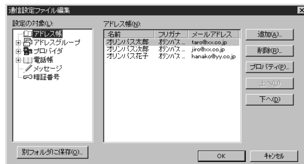
1 インストールが終わったら、CAMEDIA Comを使ってスマートメディアに通信の設定をしてください。

以下の画面はオンラインマニュアルの抜粋です。詳細はオンラインマニュアルをご覧ください。



通信設定ファイル編集ダイアログ

13.7 通信設定ファイルを編集する
通信設定ファイル編集ダイアログで、各設定項目の編集を行います。



アドレス帳（カメラ用）の編集

13.8.1 アドレス帳 (カメラ用)
カメラでEメール送受信を行う際に参照するカメラ用のアドレス帳を編集します。
このアドレス帳は、カメラで参照するためのアドレス帳であり、CAMEDIA Comで参照するためのアドレス帳とは異なります。
同梱のスマートメディアでは、サービス用のEメールアドレスが表示されます。

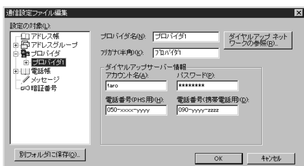
カメラの通信設定をしましょう（つづき）



アドレスグループの編集

13.8.2 アドレスグループ

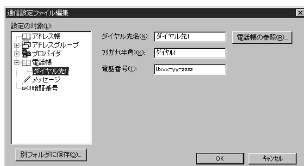
カメラからEメールで画像を送信する際の、アドレスグループを設定します。
アドレスグループを設定しておくと、複数のアドレスに同じ画像を送信することが容易になります。



プロバイダの編集

13.8.3 プロバイダ

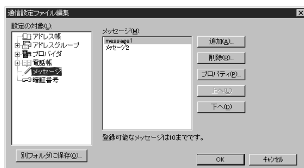
カメラからEメールで画像を送信する際に使用するプロバイダの設定を行います。
同梱のスマートメディアでは、設定されているプロバイダの内容が表示されます。



電話帳（カメラ用）の編集

13.8.4 電話帳（カメラ用）

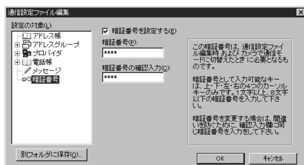
ダイヤル送受信で、カメラから電話をかける際に使用する電話帳の設定を行います。
この電話帳は、カメラで参照するための電話帳であり、CAMEDIA Comで参照するための電話帳とは異なります。



メッセージの編集

13.8.5 メッセージ

カメラから画像を送信する際に付加することのできるメッセージの設定を行います。
登録可能なメッセージは10種類までです。
メッセージに使える文字は、16文字以内の半角英数文字、カタカナと「@」、「_」、「.」で、全角文字及び上記以外の半角記号は使えません。



暗証番号の編集

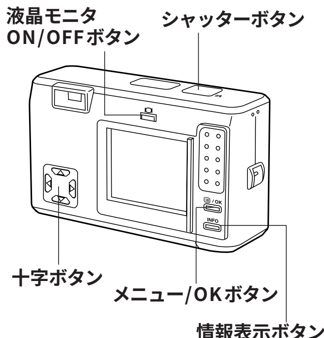
13.8.6 暗証番号

通信設定ファイルの暗証番号の変更を行います。

2 設定の済んだスマートメディアを使って撮影します。

注意
- **通信モードを使用するには、スマートメディア中にSHQにて1枚撮れるだけの空き容量が必要です。**
- **スマートメディアにこれらの設定をするには、別売のPCカードアダプタ（MA-2)、フロッピーディスクアダプタ（MAFP-2/2N)、スマートメディア・リーダ/ライタ（MAUSB-2）等が必要です。**
- **詳細はCAMEDIA Comのオンラインマニュアルをご覧ください。**
- **スマートメディアを初期化すると、それに書き込んだ設定は消去されます。設定の内容は必ずコピーをとっておいてください。**

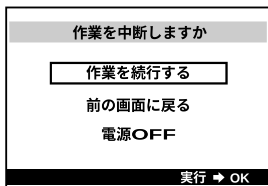
ボタンの使い方



・選択する時は、十字ボタンを使って選択枠を移動させます。
十字ボタン △ を押すと上に、 ▽ を押すと下に、 ◁ を押すと左に、 ▷ を押すと右にそれぞれ選択枠が移動します。

・選択を決定する時は、シャッターボタンを押す場合とメニュー/OKボタンを押す場合があります。それぞれの操作方法をご覧ください。

液晶モニタ（作業中断時の表示例）



・作業を中断する時は液晶モニタON/OFFボタンを押します。

操作の流れ

1 通信モードの選択

2 画像の選択

3 通信方法の選択

4 通信相手の選択

5 通信の実行

CAMEDIA

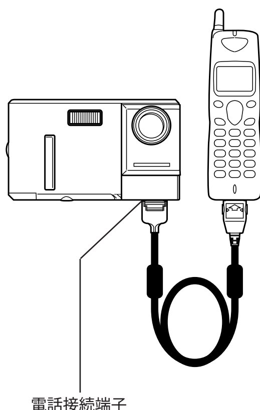
3

送受信のしかた

OLYMPUS DIGITAL CAMERA

E メール送信及びダイヤル送信のしかた

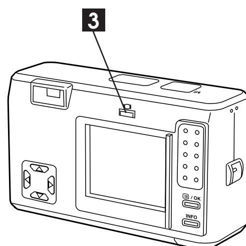
1. カメラに携帯電話/PHSを接続します



操作方法

1 カメラと電話の電源が切れている（カメラはレンズバリアが閉じていてコントロールパネルが消灯している）ことを確認し、通信設定済みの画像データの入ったスマートメディアをカメラにセットします。

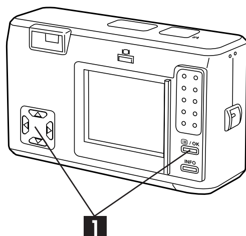
2 カメラと電話を別売の通信用ケーブルで接続します。
携帯電話用：CB-PDC1（別売）
PHS用　：CB-PHS1（別売）



3 最初に電話の電源を入れ、次にカメラの液晶モニタON/OFFボタンを押して、カメラの電源を入れます。カメラのレンズバリアは閉じたままにしておきます。

注意
- **接続は必ずカメラと電話の電源が切れている状態で行ってください。**
- **先に電話の電源を入れてから、次にカメラの電源を入れてください。**

2．暗証番号を入力します



操作方法

1 **パソコンで暗証番号を設定してある場合は、十字ボタンを使って暗証番号を入力し、メニュー/OKボタンを押します。**

暗証番号を設定していない場合は、暗証番号入力画面は表示されません。

十字ボタンの ◁ が 1、△ が 2、▷ が3、▽ が4 に設定されています。

液晶モニタ

通信モードのスタート

暗証番号を入力してください

_

2 **暗証番号が正しい場合は、「通信モードの選択」の画面が表示されます。**

液晶モニタ

通信モードのスタート

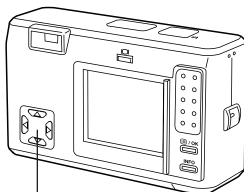
もう一度入力してください

*******_

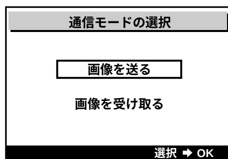
3 **暗証番号が正しくない場合は、再度暗証番号入力画面が表示されます。**

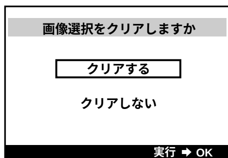
E メール送信及びダイヤル送信のしかた（つづき）

3. 通信モードを選択します



液晶モニタ





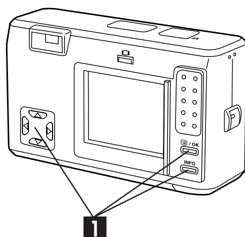
操作方法

1 「通信モードの選択」の画面で、十字ボタンを使って「画像を送る」を選択します。

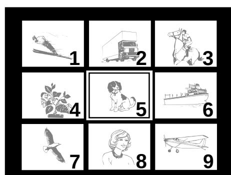
2 前回の画像選択情報を記憶していますので、「画像選択をクリアしますか」の画面が表示されます。新たに画像を選択する場合は、「クリアする」を選択します。

送受信のしかた

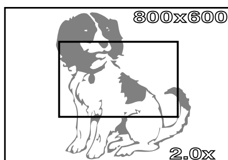
4. 送信する画像を選択します



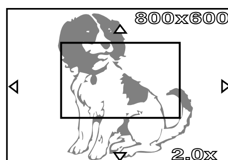
液晶モニタ（インデックス表示）



液晶モニタ（拡大設定）



液晶モニタ（範囲選択）



操作方法

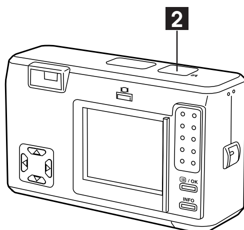
1 メニュー/OKボタンを押すと、通常の再生画面が表示されます。コマ再生と同様に十字ボタンの ◁ ▷ を押してコマ移動します。

十字ボタンの ▽ を押すと、インデックス表示されます。

＊＊トリミング（切り出し）＊＊
単画像表示で十字ボタンの △ を押すたびに、画像の枠の部分が1.25倍、1.6倍、2.0倍、2.5倍に拡大されます。（表示は拡大されません。）

情報表示ボタンを押すと、画面に3角指標が表示され、十字ボタンを使って選択範囲を移動させることができます。

Eメール送信及びダイヤル送信のしかた（つづき）



2 シャッターボタンを押すと、画像サイズ選択画面が表示されます。

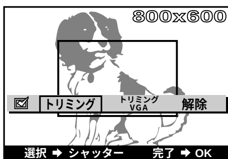
前ページの 1 でトリミングをしなかった場合で、画像サイズがVGA以上の時は、「ストレート」のほかに「VGA」が表示されます。

液晶モニタ（サイズ選択）

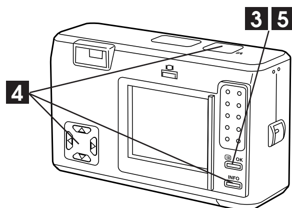


前ページの 1 でトリミングを行った場合で、画像サイズがVGA以上の時は、「トリミング」のほかに「トリミングVGA」が表示されます。

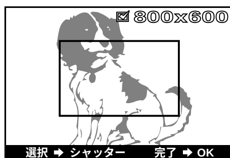
液晶モニタ（サイズ選択）



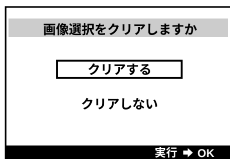
「ストレート」を選択すると、オリジナルの画像サイズで送信されます。
「VGA」を選択すると、選択した拡大画像をVGAに変換して送信されます。
「トリミング」を選択すると、画面上で選択した部分が拡大で送信されます。ただし、元の画像サイズがVGAの場合は、2.5倍に拡大しても320 x 240ピクセルの枠の中に160 x 120ピクセルの画像が入ります。
「トリミングVGA」を選択すると、選択した部分の画像をVGAに変換して送信されます。
「解除」を選択すると、その画像の選択が解除されます。



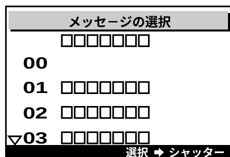
液晶モニタ（選択確定）

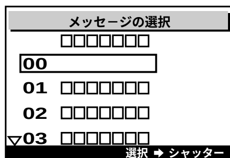


液晶モニタ（選択解除）



液晶モニタ（メッセージ添付）





3 メニュー/OKボタンを押すと、選択が確定し、画像に選択マーク☑が表示されます。（100kB以上の画像には、選択マークが赤色で表示されます。）

液晶モニタON/OFFボタンを押すと作業中断の画面になり、そこで「前の画面に戻る」を選択すると画像選択クリアの画面になって、画像の選択を全て解除することができます。

4 選択が完了してから情報表示ボタンを押すと、登録済みのメッセージが一覧で表示されます。十字ボタンでメッセージを選択してシャッターボタンを押すと、表示中の画像にメッセージが添付されます。

メッセージの登録は同梱のソフトウェアCAMEDIA Comのオンラインマニュアル「13.8.5 メッセージ」を参照してください。

メッセージに使える文字は、16文字以内の半角英数文字、カタカナと「@」、「_」、「.」で、全角文字及び上記以外の半角記号は使えません。

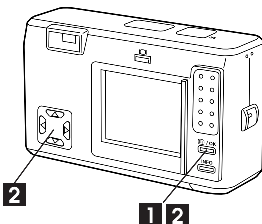
「00」の位置にカーソルを移動してシャッターボタンを押すと、選択を解除することができます。

5 送信する画像を同様に選択します。

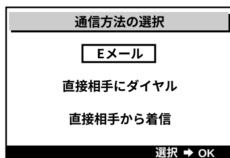
画像は最大9つまで選択することができます。

Eメール送信及びダイヤル送信のしかた（つづき）

5. 通信方法を選択します



液晶モニタ

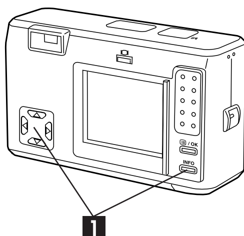


操作方法

1 **メニュー/OKボタンを押すと、「通信方法の選択」の画面が表示されます。**

2 **十字ボタンを使ってEメール送信の時は「Eメール」を、ダイヤル送信の時は「直接相手にダイヤル」を選択して、メニュー/OKボタンを押します。**

6. 通信相手を選択します



液晶モニタ（アドレス帳）

アドレス帳
01☑□□□□□□□□□□
02 □□□□□□□□□□
03☑□□□□□□□□□□
04☑□□□□□□□□□□
▽05 □□□□□□□□□□
選択 ➡ シャッター　完了 ➡ OK

液晶モニタ（電話帳）

電話帳
01 □□□□□□□□□□□□ ▷
02 □□□□□□□□□□
03 □□□□□□□□□□
04 □□□□□□□□□□
▽05 □□□□□□□□□□
詳細情報 ➡ INFO　選択 ➡ シャッター

操作方法

1 「E メール送信」では、登録済みのアドレス帳が一覧で表示されます。

E メール送信では、シャッターボタンを押すとアドレス帳にチェックマークが付き、5ヶ所まで同時送信が可能です。

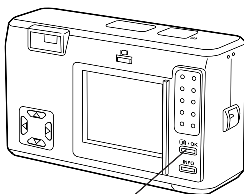
「ダイヤル送信」では、登録済みの電話帳が一覧で表示されます。（現在カメラに接続されている携帯電話／PHSに対応した相手だけが表示されます。）

十字ボタンの △▽ で通信相手を選択します。

アドレス帳及び電話帳の編集は、同梱のソフトウェアCAMEDIA Comのオンラインマニュアル「13.6 既存の通信設定ファイルを開く」を参照してください。

アドレス帳及び電話帳の一覧で情報表示ボタンを押すと、その項目の詳しい情報が表示されます。

E メール送信及びダイヤル送信のしかた（つづき）



2

液晶モニタ（プロバイダ選択）

プロバイダの選択
01 □□□□□□□□□□
02 □□□□□□□□□□
03 □□□□□□□□□□
04 □□□□□□□□□□
▽05 □□□□□□□□□□
詳細情報 ➔ INFO　選択 ➔ シャッター

液晶モニタ（確認画面）

通信を開始します
01 □□□□□□□□□□
送信容量：9999KB
接続
画像選択画面へ戻る
実行 ➔ OK

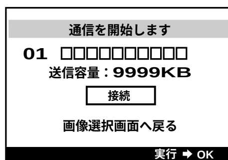
選択画像の総容量

2 メニュー/OKボタンを押すと、Eメール送信ではプロバイダ選択画面が表示されます。プロバイダを選択して再度メニュー/OKボタンを押すと、通信相手の確認画面が表示されます。

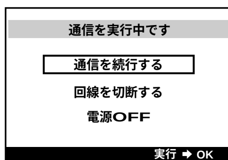
ダイヤル送信ではプロバイダ選択画面は表示されません。

7. 送信します

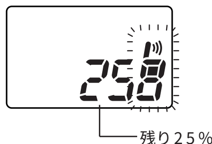
液晶モニタ（確認画面）



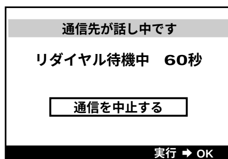
液晶モニタ（通信中断）



コントロールパネル（通信中）



液晶モニタ（話し中）

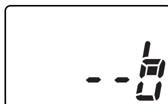


操作方法

1 通信相手を確認したら、十字ボタンの△▽ で「接続」を選択し、メニュー/OKボタンを押すと、選択した通信相手へのデータの送信が始まります。

通信を中断する時は、液晶モニタON/OFFボタンを押します。
通信中は液晶モニタが消灯し、コントロールパネルには通信マークが点滅してその画像の通信残量が表示されます。（複数の画像を選択している時は、通信残量が複数回表示されます。）
通信相手が話し中の場合は、1分後に自動的に再ダイヤルします。
エラーについては、P．66～67をご覧ください。
通信が正常に終了すると、カメラのコントロールパネルに --b が表示されます。

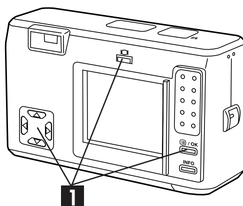
コントロールパネル（正常終了）



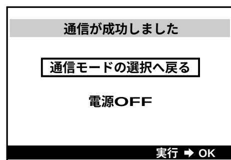
送受信のしかた

E メール送信及びダイヤル送信のしかた（つづき）

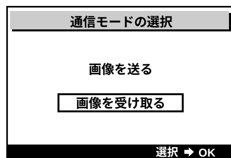
8.　通信モードを終了します



液晶モニタ（通信成功）



液晶モニタ（モード選択）



操作方法

1 通信が終了したら、カメラの液晶モニタON/OFFボタンを押して、再度モニタ画面を表示させます。

十字ボタンで「通信モードの選択へ戻る」を選択してメニュー/OKボタンを押すと、通信モード選択画面に戻ります。
終了する場合は、「電源OFF」を選択してメニュー/OKボタンを押します。


メモ
- **選択する時は、十字ボタンを使って選択枠を移動させます。**
- **作業を中断する時は、液晶モニタON/OFFボタンを押します。**

待受け送信のしかた

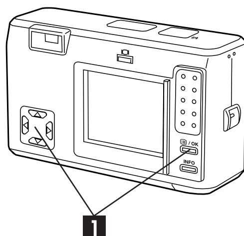
1.　カメラに携帯電話/PHSを接続します（P.32参照）

2.　暗証番号を入力します（P.33参照）

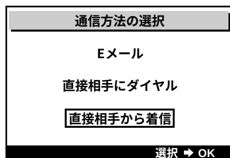
3.　通信モードを選択します（P.34参照）

4.　送信する画像を選択します（P.35参照）

5.　通信方法を選択します



液晶モニタ（通信方法選択）



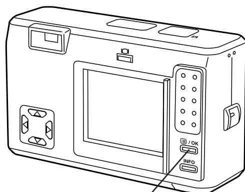
操作方法

1 メニュー/OKボタンを押すと、「通信方法の選択」の画面が表示されます。

十字ボタンを使って「直接相手から着信」を選択します。

待受け送信のしかた（つづき）

6. 電話を待って送信します



操作方法

1 メニュー/OKボタンを押すとカメラが待ち受け状態になり、液晶モニタが消灯し、コントロールパネルに通信マークが表示されます。通信相手から電話がかかると、データの送信が始まります。

コントロールパネル（待ち受け中）



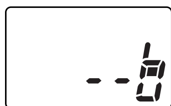
コントロールパネル（通信中）



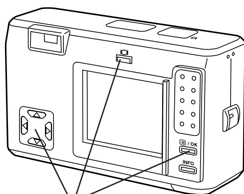
残り25％

通信中はコントロールパネルに通信マークが点滅し、その画像の通信残量が表示されます。
エラーについては、P．66〜67をご覧ください。

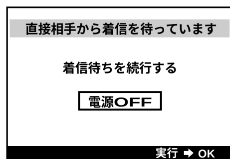
コントロールパネル（正常終了）



通信が正常に終了すると、カメラのコントロールパネルに - - が表示されて、再び待ち受け状態に戻ります。



液晶モニタ（待ち受け解除）



2 待ち受けを解除する時は、カメラの液晶モニタON/OFFボタンを押してモニタ画面を表示させ、十字ボタンで「電源OFF」を選択してメニュー/OKボタンを押します。

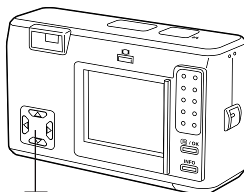

メモ
- **選択する時は、十字ボタンを使って選択枠を移動させます。**
- **作業を中断する時は、液晶モニタON/OFFボタンを押します。**

E メール受信及びダイヤル受信のしかた

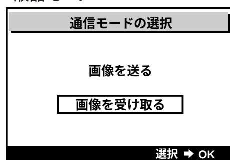
1．　カメラに携帯電話/PHSを接続します（P.32参照）

2．　暗証番号を入力します（P.33参照）

3．　通信モードを選択します



液晶モニタ



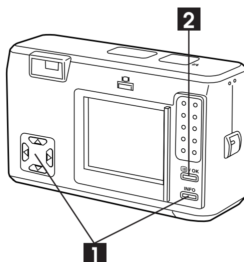
操作方法

1 **「通信モードの選択」の画面で、十字ボタンを使って「画像を受け取る」を選択します。**

4．　通信方法を選択します（P.38参照）

送受信のしかた

5. 通信相手を選択します



液晶モニタ（プロバイダ選択）

プロバイダの選択
01 □□□□□□□□□□□
02 □□□□□□□□□□□
03 □□□□□□□□□□□
04 □□□□□□□□□□□
▽05 □□□□□□□□□□□
詳細情報 ➡ INFO　選択 ➡ シャッター

液晶モニタ（電話帳）

電話帳
01 □□□□□□□□□□□□□ ▷
02 □□□□□□□□□□□
03 □□□□□□□□□□□
04 □□□□□□□□□□□
▽05 □□□□□□□□□□□
詳細情報 ➡ INFO　選択 ➡ シャッター

操作方法

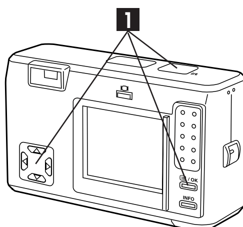
1 「E メール受信」では、登録済みのプロバイダが画面に一覧で表示されます。「ダイヤル受信」では、登録済みの電話帳が一覧で表示されます。
十字ボタンの △ ▽ で通信相手を選択します。

プロバイダ及び電話帳の編集は、同梱のソフトウェアCAMEDIA Comのオンラインマニュアル「13.6 既存の通信設定ファイルを開く」を参照してください。
情報表示ボタンを押すと、その項目の詳しい情報が表示されます。

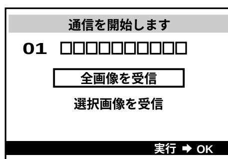
2 メニュー/OKボタンを押すと、通信相手の確認画面が表示されます。

Eメール受信及びダイヤル受信のしかた（つづき）

6.　受信します



液晶モニタ（確認画面）



液晶モニタ（受信画像選択）



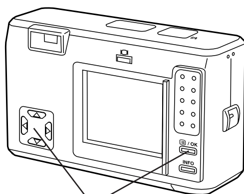
カードエラーマーク

操作方法

1 通信相手を確認したら、Eメール受信の場合は、十字ボタンの△▽で「全画像を受信」か「選択画像を受信」を選択し、メニュー/OKボタンを押します。

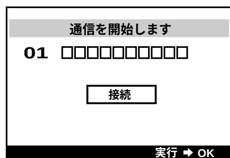
「全画像を受信」を選択してメニュー/OKボタンを押すと液晶モニタが消灯し、通信相手からの全データの受信が始まります。
「選択画像を受信」を選択すると、1度液晶モニタが消灯し、約1分後に「受信画像の選択」が表示されます。十字ボタンの△▽で受信画像を選択し、シャッターボタンでチェックマークをつけてください。メニュー/OKボタンを押すと、チェックマークのついた選択データの受信が始まります。

ファイルサイズが100kBを越えるメールには、赤のチェックマークがつきます。
受信するファイルの総量がスマートメディアの空き容量を越える場合は、カードエラーマークが表示されます。

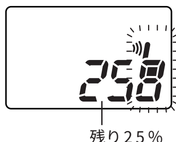


2 ダイヤル受信の場合は、「接続」が選択された状態でメニュー/OKボタンを押すと、選択した通信相手からのデータの受信が始まります。

液晶モニタ（確認画面）



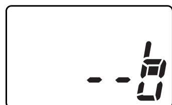
コントロールパネル（通信中）



残り25%

通信中はコントロールパネルに通信マークが点滅し、その画像の通信残量が表示されます。
エラーについては、P. 66～67をご覧ください。

コントロールパネル（正常終了）

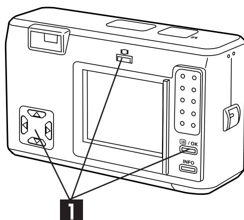


通信が正常に終了すると、カメラのコントロールパネルに --b が表示されます。

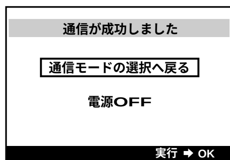
送受信のしかた

7. 通信モードを終了します

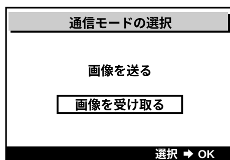
操作方法



液晶モニタ（通信成功）



液晶モニタ（モード選択）



1 通信が終了したら、カメラの液晶モニタON/OFFボタンを押して再度モニタ画面を表示させます。

十字ボタンで「通信モードの選択へ戻る」を選択してメニュー/OKボタンを押すと、通信モード選択画面に戻ります。

終了する場合は、「電源OFF」を選択してメニュー/OKボタンを押します。

2 受信した画像を見る場合は、1度電源を切り、電話とカメラの接続を外し、液晶モニタON/OFFボタンを押して画像を再生してください。

メモ

- 選択する時は、十字ボタンを使って選択枠を移動させます。
- 作業を中断する時は、液晶モニタON/OFFボタンを押します。

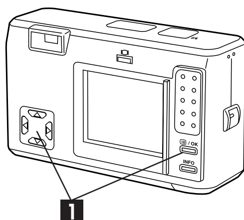
待受け受信のしかた

1.　カメラに携帯電話/PHSを接続します（P.32参照）

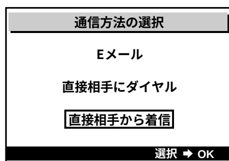
2.　暗証番号を入力します（P.33参照）

3.　通信モードを選択します（P.46参照）

4.　通信方法を選択します



液晶モニタ（通信方法選択）



操作方法

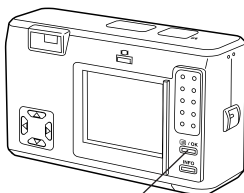
1 メニュー/OKボタンを押すと、「通信方法の選択」の画面が表示されます。

十字ボタンを使って「直接相手から着信」を選択します。

待受け受信のしかた（つづき）

5． 電話を待って受信します

操作方法



1 メニュー/OKボタンを押すと、カメラが待ち受け状態になり、液晶モニタが消灯し、コントロールパネルに通信マークが表示されます。電話がかかると、データの受信が始まります。

コントロールパネル（待ち受け中）



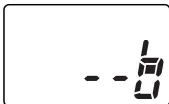
コントロールパネル（通信中）



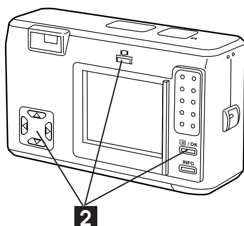
残り25%

通信中はコントロールパネルに通信マークが点滅し、その画像の通信残量が表示されます。
エラーについては、P．66～67をご覧ください。

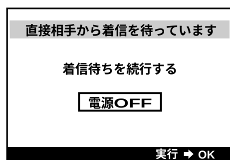
コントロールパネル（正常終了）



通信が正常に終了すると、カメラのコントロールパネルに --
が表示されて、再び待ち受け状態に戻ります。



液晶モニタ（待ち受け解除）

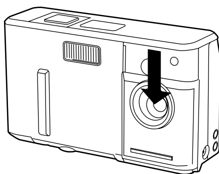


2 待ち受けを解除する時は、カメラの液晶モニタON/OFFボタンを押してモニタ画面を表示させ、十字ボタンで「電源OFF」を選択してメニュー/OKボタンを押します。

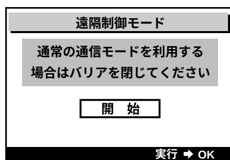

メモ

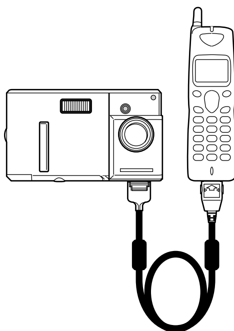
- **選択する時は、十字ボタンを使って選択枠を移動させます。**
- **作業を中断する時は、液晶モニタON/OFFボタンを押します。**

遠隔制御のしかた



液晶モニタ（遠隔制御）





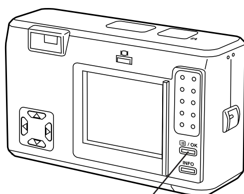
操作方法

1 カメラに携帯電話/PHSを接続します。（P. 32参照）

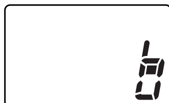
2 カメラのレンズバリアを開けます。

3 暗証番号を入力します。（P. 33参照）

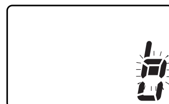
4 「遠隔制御モード」の画面が表示されます。

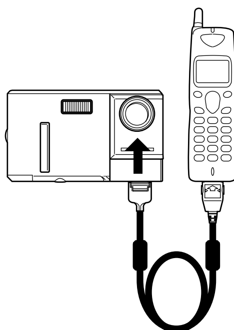


コントロールパネル（待ち受け中）



コントロールパネル（通信中）





5 「開始」が選択された状態でメニュー/OKボタンを押すと、カメラが待ち受け状態になり、液晶モニタが消灯し、コントロールパネルに通信マークが表示されます。
電話がかかり、パソコンから遠隔制御コマンドを受信すると、通信が始まります。

パソコン側の操作については、CAMEDIA Comオンラインマニュアル18章を参照してください。

通信中はコントロールパネルの遠隔制御マークが点滅します。

エラーについては、P. 66～67をご覧ください。

通信終了後、カメラは待ち受け状態に戻ります。

6 遠隔制御を解除する時は、カメラのレンズバリアを閉じてカメラの電源を切ります。

遠隔制御のしかた（つづき）

注意

・遠隔制御モードでは、必ず別売のACアダプタ（E-7AC）をお使いください。
・カメラは屋内の直射日光の当たらない場所に設置し、三脚でしっかり固定させてください。日光がレンズに当たると、カメラ内部のCCDが故障するおそれがあります。
・24時間連続運転等、過酷な条件でのご使用はお避けください。詳しい使用制限については、オリンパスサービスステーション（裏面参照）までお問い合わせください。
・同梱のソフトウェアCAMEDIA Comを使ってインターバル撮影を行う場合、短い間隔で長時間使用されますとフラッシュ等の劣化が著しくなります。これにより生じた不良は保証の対象外であり、有償での修理となりますので、ご使用にあたってはご注意ください。

メモ

・選択する時は、十字ボタンを使って選択枠を移動させます。
・作業を中断する時は、液晶モニタON/OFFボタンを押します。
・制御する側は、同梱のソフトウェアCAMEDIA Comをインストールしたパソコンから行います。

CAMEDIA

4

付録

OLYMPUS DIGITAL CAMERA

使用できる携帯電話/PHSの組み合わせ

1. 直接通信の場合

通信可能な組み合わせ	
ダイヤル ➡	着信
携帯電話	携帯電話
携帯電話	一般加入電話（アナログモデム）
PHS	PHS
PHS	ISDN（PIAFS対応ターミナルアダプタ）

通信不可能な組み合わせ	
ダイヤル ➡	着信
携帯電話	PHS
PHS	携帯電話
PHS	一般加入電話（アナログモデム）
一般加入電話（アナログモデム）	PHS

＊使用可能なターミナルアダプタ及びアナログモデムに関しては、60ページをご覧ください。

2. Eメール通信の場合

通信可能な組み合わせ	
ダイヤル ➡	着信
携帯電話	プロバイダ（一般加入電話用アクセスポイント）
PHS	プロバイダ（PIAFS対応アクセスポイント）


注意

- **使用できる携帯電話は、NTT DoCoMo製9600bpsデータ通信に対応したデジタル携帯電話に限ります。パケット方式には対応しません。**
- **使用できるPHSは、NTT DoCoMo製32kbps/64kbps対応で、データ通信端子を持つ機種に限ります。カードI/Fのものには対応しません。**
- **対応機種でも、使用できないものや機能が制限されるものがあります。**
- **このカメラでNTT DoCoMoのインターネットサービス「mopera」に接続する場合は、PHSをご利用ください。このカメラでは、携帯電話を使って「mopera」ならびに各プロバイダが設置している「#○○○○」や「03-5900-××××」のアクセスポイントはご利用になれません。**

付録

使用できる電話とモデムの組み合わせ

直接通信の場合の、電話回線とモデム/TAの組合せ

カメラ側	カメラ/パソコン側
携帯電話	カメラの場合　：デジタル携帯電話 パソコンの場合：デジタル携帯電話+デジタル携帯電話用データカード（ノートパソコン） 一般有線回線用モデム（V90の設定はしないこと）
PHS	カメラの場合　：PHS パソコンの場合：PHS + PHS用データカード（ノートパソコン） ISDN回線に接続されたTA（PIAFS対応のこと）

使用可能な電話機

NTT DoCoMo製208シリーズ等、16pinI/Fを持った通信速度9600bpsのデジタル携帯電話及び、16pinI/Fを持った通信速度：32kbps、64kbpsのPHS。

携帯電話　：208、207、206シリーズ等、Doccimo
PHS　　　：621S、622S等の64kbps対応機，333P、331N-2等の32kbps対応機
＊詳細の機種名はP.73をご覧ください。

注意事項

・携帯電話のFII Hyper 及びPHSの311N, 311Sはご使用になれません。
・使用できない電話機を接続した場合、カメラは通常の再生モードになります。
・パケット通信、iModeでのメール等には、対応しておりません。
・カードI/FのPHSはご使用になれません。
・PHSは、64kbpsに対応したベストエフォート方式（64kbps対応電話を使用する場合、相手と64kbpsで接続を試み、相手が32kbpsと判別された場合には、一度回線を切断して再度32kbpsにて自動的に接続する方式）を採用しておりますが、32kbpsの接続先へは、電話番号に続けて「#32」を入力して使用してください。
・デジタル携帯電話をパソコン側で使用する場合は、モデムのプロパティーにて、RS232Cの回線速度を19200bpsに設定してください。また同時に、「圧縮をしない」を選択してください。

使用できる電話とモデムの組み合わせ（つづき）

パソコンに使用可能なモデム/TA

一般有線回線用モデム（アナログモデム）	AIWA「PV-BF5605」、「PV-BW5605」（据え置き型） OLYMPUSアナログモデムカード「T-28M」
デジタル携帯電話用データ/FAXカード	NTT DoCoMo 「モバイルカード　デュオ」
PHS用データカード	NTT DoCoMo「モバイルカード　デュオ」
PHS用ターミナルアダプタ（TA）	NEC「AtermITX80」、「AtermIW50/D」、「AtermIT60L/D」

＊これらのモデム/TAは、パソコン側からインターネット・プロバイダへ接続する場合もご使用になれます。

インターネット・プロバイダについて

このカメラ及びアプリケーション・ソフトでは、通常の一般的なインターネット・プロバイダをご使用になれますが、一部メール方式等の違いにより、ご使用になれないプロバイダがあります。

Q & A

Q 通信及び待ち受けする場合、電池はどの位もちますか？

A 3Vリチウム電池パック（CR-V3）を使った場合、3時間以上の通信及び待ち受けが可能です。但しこれは一応の目安で、接続する電話、電池の種類、使用環境温度等によって大きく変わります。特に寒冷地では、極端に時間が短くなります。機器や電池を暖めてご使用ください。また、通信を行う場合は途中で電池の交換ができないため、十分に容量の残っている電池をご使用ください。

Q どのような携帯電話でも使えますか？

A 通信品質を確認している当社推奨品を、カメラのパッケージ及び、同梱のソフトウェアCAMEDIA Comのオンラインマニュアルに記載しておりますので、ご参照ください。特に携帯電話からの電話番号及びメッセージの読み出しは機種によってできない場合がありますのでご確認ください。

修理に出す前にお確かめください

通信上のトラブル

こんなときには	
接続先に電話がかからない。	
原因	**こうしましょう**
①接続が正しくされていない。	❶カメラと接続ケーブル及び電話の接続を再度ご確認ください。（P.32参照）
②カメラの電池が消耗している。	❷カメラにバッテリーの警告マークが表示されているときは、電池を交換してください。
③携帯電話の設定がFAX送信モードになっている。	❸携帯電話は、データ通信モード、FAX送信モード共、「OFF」に設定してください。設定の方法は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
④携帯電話/PHSの電波状態を表示するアンテナが「圏外」になっている。	❹「圏外」では電波が届かないので、電波の良好な場所へ移動してご使用ください。また、「圏外」でなくても電波が弱いとかからない場合がありますので、同様に良好な場所へ移動するか、時間帯を変えてご使用ください。

こんなときには	
接続先に電話はかかるが、プロバイダに接続できない。	
原因	**こうしましょう**
①カメラの通信設定が正しく行われていない。	❶同梱のソフトウェアCAMEDIA Comで確認してください。特に、プロバイダのアクセスポイントが、お使いの電話と対応しているかご確認ください。（携帯電話の場合は、一般有線回線（アナログモデム用）のアクセスポイントを設定。PHSの場合は、PIAFS対応のアクセスポイントを設定。）

こんなときには	
何度接続しても、「通信エラー」でプロバイダにつながらない。	
原因	**こうしましょう**
①プロバイダへの利用者が集中している。	❶別のアクセスポイントへ接続するか、空いている時間帯におかけなおしください。
②カメラの通信設定が正しく行われていない。	❷CAMEDIA Comで、カメラの通信設定のプロバイダ設定（ネームサーバー等）をご確認ください。

こんなときには	
メールの送信又は受信ができない。	
原因	**こうしましょう**
①カメラの通信設定が正しく行われていない。	❶CAMEDIA Comで、カメラの通信設定のプロバイダ設定（ネームサーバー等）をご確認ください。

修理に出す前にお確かめください（つづき）

こんなときには	
送ったメールが相手に届かない。	
原因	**こうしましょう**
①カメラの通信設定が正しく行われていない。	❶CAMEDIA Comで、カメラの通信設定の相手のメールアドレスをご確認ください。

こんなときには
カメラでメールの受信をすると、サーバーにメールが残らない。
原因
①カメラで受信すると、メールはサーバーから削除されます。

こんなときには
受信メールの一部しかカメラで受信できない。
原因
①このカメラでは、C-21T.commu及び同梱のソフトウェアCAMEDIA Comで送信した画像添付メールしか受信できません。

こんなときには	
同梱のソフトウェアCAMEDIA Comで作成し、送信した画像がカメラで受信できない。	
原因	**こうしましょう**
①このカメラでは、C-21T.commuで撮影した画像しか受信できません。	❶CAMEDIA Comで画像をメールに添付する際、予め画像をカメラ画像であるDCF規格のJPEGファイルに変換してください。

付録

こんなときには	
通信途中で「通信エラー」になる。	
原因	**こうしましょう**
①電波の状態が悪い。	❶特に携帯電話回線（無線系）を利用した通信では、電波の状態によりつながらなかったり、通信エラーを起こすことがあります（電波の状態は変化します)。このカメラは、エラーが発生しても数回リトライを行ないますが、それでもエラーが多発すると回線を切断し、エラー表示をして停止します。しばらくしてから、再度通信を行なうか、電波状態の良い場所に移動して行ってください。ＰＨＳの場合でも同様ですが、ＰＨＳは、基地局側のアンテナ一箇所で同時に通話できる回線数が最低3回線の場所があり、ここでは、回線がふさがっていると話し中になります。この場合、別のアンテナがある場所に移動して通信を行ってください。
②カメラの電池が消耗している。	❷カメラにバッテリーの警告マークが表示されているときは、電池を交換してください。

付録

エラーコードとその他の表示

液晶モニタ表示	コントロールパネル表示	内　容
対応電話機ではありません		対応電話機ではありません。
画像が選択されていません 画像選択画面へ戻る 実行 ➔ OK		画像が選択されていません。 メニュー/OKボタンを押して、画像選択画面へ戻ってください。
アドレスが選択されていません アドレス帳画面へ戻る 実行 ➔ OK		アドレスが選択されていません。 メニュー/OKボタンを押して、アドレス帳画面へ戻ってください。
		ダイヤルしています。
	25	その画像の残り25%を通信中です。 （上は送信、下は受信）

付録

液晶モニタ表示	コントロールパネル表示	内　　容
	--b	通信が正常に終了しました。
通信が失敗しました 再実行する 電源OFF 実行 ➡ OK	Er-b	通信が失敗しました。再実行する場合は、十字ボタンで「再実行する」を選択し、メニュー/OKボタンを押してください。
通信先のカード容量が不足です 画像選択へ戻る 電源OFF 実行 ➡ OK	Er-b	通信先のカード容量が不足しています。
受信用のカード容量が不足です 受信容量：9999KB 受信画像選択画面へ行く 電源OFF 実行 ➡ OK	! Er-b	受信するためのカード容量が不足しています。
受信用のカード容量が不足です 受信容量：9999KB 電源OFF 実行 ➡ OK	! Er-b	受信するためのカード容量が不足しています。

用語の説明

携帯電話：

無線で通話及びデータ通信を行える電話。現在販売されている携帯電話は、デジタルで通話やデータ通信を行うデジタル携帯電話が主流となっています。データ通信は9600bpsが可能。最近は、パケット方式、iMode等の携帯電話がありますが、このカメラでは、通常の9600bpsデータ通信モードでのみお使いになれます。

モデム：

アナログの一般公衆回線にてデータ通信を行う場合に必要な装置です。パソコンとRS232Cケーブルで接続して使用します。

PHS：パーソナル・ハンディー・フォンの略称

携帯電話より電力を抑え、小型・軽量にして使い易くした電話。携帯電話より高速（32/64kbps）のデータ通信が可能なことが特徴です。ただし、使える場所（サービスエリア）が携帯電話より限られます。

ISDN回線：

NTTが提供するデジタル電話回線（INS64）。アナログの一般公衆回線より安定した64kbpsの高速通信が行えます。PHSとの直接通信を行う場合は、アナログ回線ではなくISDN回線を必要とします。

TA：ターミナルアダプタの略称

ISDN回線でデータ通信を行う場合に必要な回線接続装置。アナログ回線の場合のモデムに相当するもの。PHSと直接通信を行う場合に必要です。プロバイダへのダイヤルアップ接続にもご使用になれます。

PIAFS（対応）：PHS Internet Access Forum Standardの略称

PHSにてデータ通信を行うための規格。ISDN回線にてPHSとの直接通信を行う場合、このPIAFS規格に対応したターミナルアダプタ（TA）を使用する必要があります。必ず、推奨品をご用意ください。

プロバイダ：

インターネットで、Eメール、Web閲覧を行う場合に、回線接続の契約をする業者をプロバイダと呼びます。契約をむすぶと、Eメールのメールアドレスや、ダイヤルアップに必要なID、パスワード等を取得できます。取得した情報をスマートメディアに設定してください。

アドレス：

インターネットのＥメール・アドレスを指します。Ｅメールを送る相手を特定するための住所に相当するものです。

サーバー：

ここでのサーバーは、プロバイダの持っているＥメールを保存する装置を指します。皆さんの送り合うＥメールが保存されています。

暗証番号：

このカメラを他人が勝手に使えないようにセキュリティー機能を設定することができます。スマートメディアに設定する通信設定の中で暗証番号を入力すると、この機能が使用できます。このカメラの場合、「１」から「４」までの数字を８桁以内で設定することができます。

Doccimo：

ＮＴＴ　ＤｏＣｏＭｏの携帯電話とＰＨＳの機能を両方搭載した電話機です。このカメラで使用する場合は、電話機側の「カード設定」機能にて、「携帯電話」か「ＰＨＳ」どちらかの「固定モード」に設定してお使いください。接続ケーブルは、「携帯電話用」にて両方のモードに対応します。

ＶＧＡ：

元々は、パソコンの画面サイズを表すもの。ＶＧＡは、６４０dot（横）×４８０dot（縦）のサイズのこと。

パケット方式：パケット交換方式の略称

パケット交換方式とは、データ通信を行う際に、データをある大きさのパケット（小包）に分割し、このパケット単位に通信する方式。ＮＴＴ ＤｏＣｏＭｏでは、送受信するパケットの数で課金する契約方式があります。文章のみのインターネットメールには便利な課金制度ですが、このカメラではご使用になれません。

ｉMode：

ＮＴＴ　ＤｏＣｏＭｏの携帯電話の一種です。電話機自体でＥメールやｉＭｏｄｅ専用Ｗｅｂの閲覧ができるモードを持っています。このカメラでは、通常の９６００bpsデータ通信モードにてお使いになれます。

用語の説明（つづき）

mopera：

NTT DoCoMoの携帯電話およびPHS用のインターネット・サービスです。このカメラは、携帯電話では「mopera」には対応していません。PHSにてご利用ください。

V.42bis：

データ圧縮プロトコルの一種です。このカメラは、V.42bisには対応しておりません。したがって、このカメラからは、携帯電話を使って、NTT DoCoMoのインターネット・サービス「mopera」、ならびに各プロバイダが設置している「#○○○○」や「03-5900-XXXX」のアクセスポイントはご利用になれません。上記以外のアクセスポイントへ接続するか、PHSのご利用をおすすめします。

V.90：

データ圧縮プロトコルの一種です。このカメラでは使用しません。携帯電話と直接通信にて一般公衆回線で通信する場合、パソコン側のモデム設定には「V90」を設定しないようにしてください。

仕様（通信機能）

通信方式	:デジタル画像通信、デジタル携帯電話/PHSによるデータ転送
使用電話	:NTTDoCoMo製　デジタル携帯電話/PHS
NTT DoCoMo製デジタル携帯電話	
	:208シリーズ等、16pinI/Fを持った携帯電話。パケット通信、iModeには、非対応。
通信速度	:9600bps
NTT DoCoMo製PHS	:621S、622S等16pinI/Fを持ったPHS。
通信速度	:32kbps、64kbps
通信モード	:Eメール添付による画像転送、ダイレクト電話接続による画像転送、送信・受信機能搭載
Eメール方式	:MIME、符号化方式：base64、プロトコル SMTP、POP3
ダイレクト電話接続方式	:回線接続プロトコルは独自方式
遠隔制御機能	:待受けモードにて遠隔制御機能が可能。カメラ機能（撮影記録）を電話回線経由にて、リモートにて動作可能。回線接続プロトコルは、独自方式。PCアプリは、弊社通信ソフトCAMEDIA Comが使用可能。
送受信可能な画像ファイル	
	:C-21T.commuにて再生可能なExif-JPEG画像。Exif非圧縮（Exif-TIFF）は不可。通常の文書ファイル等は不可。
送信画像数	:最大9画像
送信画像変換	:既に撮影済みの画像を、送信画像選択時、倍率:1、1.25、1.6、2、2.5倍ズーム再生及び、スクロールによるトリミング変換可能
メッセージ追加	:送信画像ファイル内にメッセージを追加して送信可能。メッセージは、再生モードで画像と共に表示可能。メッセージに使える文字は、16文字以内の半角英数文字、カタカナと「@」、「_」、「.」で、全角文字及び上記以外の半角記号は使えません。
送信相手先登録	:スマートメディア内に保存。Eメール設定、ダイレクト送信先電話番号、プロバイダ設定。

仕様（通信機能）（つづき）

Ｅメール用プロバイダ	：オリンパス・プロバイダ等
通信相手	：同じカメラ、通信ソフト CAMEDIA Com（オリンパス製）、 Ｅメール用プロバイダ
通信ソフト	：専用通信ソフト Ｅメール機能（送信、受信）、 ダイレクト通信機能（送信、待ち受け） 画像処理機能（表示、編集）
連続通信時間（待ち受けも同様）	
	：ニッケル水素バッテリー（充電式）：約90分 専用リチウム電池パック（1次）　：約180分
通信用コネクタ	：10pin小型フラットコネクタ（電話接続専用）
通信用ケーブル	：デジタル携帯電話用：CB-PDC1（別売） PHS用　　　　　　：CB-PHS1（別売）
特記事項	・Exif-TIFF画像は、送受信できません。 ・電話の種類によっては使用できない場合があります。 ・電話回線の組み合わせによっては使用できない場合があります。 ・電話の回線状態によっては、転送速度が遅くなったり、回線切断が発生する場合があります。 ・このカメラシステム以外からのＥメールは受信できません。 ・添付画像は、C-21T.commuで記録したもののみ表示可能です。 ・画像のファイル名等も、C-21T.commuに準じた形式でのみ転送可能です。 ・データ圧縮プロトコル：V.42bisには対応していませんので、このカメラから携帯電話を使ってNTT DoCoMoのインターネットサービス「mopera」ならびに各プロバイダが設置している「#○○○○」や「03-5900-××××」のアクセスポイントはご利用になれません。それ以外のアクセスポイントへ接続するか、PHSをご利用ください。

接続確認済み携帯電話

P208, N208S, N208, F208, D208, R208, P207, N207S, N207, F207, D207, R207DE207, KO207, SO207, SA207, NM207, ER207,

P206, N206, F206, D206, R206, M206, KO206, SO206, TS206, NM206, SH206, P205, ER205, P204,

P203, N203, F203, D203, R203, KO203, P202,

P201, N201, F201, D201, KO201, SO201, SA201, SH201, KY201,

P101, N103, N102N101, F101, D101, R101, M101, KO101, SO101, SA101, TS101, KY101,

P II Hyper, N II Hyper, N III Hyper, D II Hyper,

P601ev, P601es, N601ps, F601ev, SH601em,

P302, N302, P301, N301,

E208, E401, E203, E102, E101,

P157, N157, NM157, F156, P156, NM156, P153, N153, P151, F151, N151

P501i, F501i, N501i, D501i

P811, N811, SH811,

接続確認済みPHS

621S, 622S,

333P, 331P-II, 331P, 313P, 311P, 332S, 331S-II, 331S, 314S, 312S,

331T-II, 311T, 312D, 331N-II, 311M, 311Y

ご注意
上記の確認は、1999年12月27日　現在のものです。
上記の電話機は、画像の通信が可能です。ただし、上記の電話機でも、電話機側のメモリダイヤルを使った機能を使えないものがあります。別途お問い合わせください。





OLYMPUS®

オリンパス光学工業株式会社

〒163-8610　東京都新宿区西新宿1の22の2　新宿サンエービル

アクセスポイント（製品に関するお問い合わせ）

札　幌 …………………… 011-231-2338
仙　台 …………………… 022-218-8437
東　京(八王子)……… 0426-42-7499
名古屋 …………………… 052-201-9585
大　阪 …………………… 06-6252-0506
広　島 …………………… 082-222-0808
福　岡 …………………… 092-724-8215

※上記のアクセスポイントまで電話をかけていただければ、オリンパスカスタマーサポートセンターに転送されます。アクセスポイントまでの電話料金はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。

営業時間　10：00～17：00（土・日曜、祝日及び弊社定休日を除く）

※オリンパスホームページ　http://www.olympus.co.jpでデジタルカメラ及び関連製品の技術提供をしております。

国内サービスステーション（修理受付窓口）

※土・日曜、祝日および年末年始は原則として休みます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町1の3の1　小川町三井ビル(オリンパスプラザ内)	Tel.03(3292)1931
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北4条東1丁目2の3　札幌フコク生命ビル	Tel.011(231)2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区中央1丁目13-4 泉エクセルビル	Tel.022(218)8421
新　潟	〒950-0087	新潟市東大通り2の4の10　日本生命新潟ビル	Tel.025(245)7337
松　本	〒390-0815	松本市深志1の2の11　松本昭和ビル	Tel.0263(36)5331
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦2の19の25　日本生命広小路ビル	Tel.052(201)9571
金　沢	〒920-0961	金沢市香林坊1の2の24　千代田生命金沢ビル	Tel.076(262)8257
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場2の12の26　オリンパス大阪センター	Tel.06(6252)6991
高　松	〒760-0007	高松市中央町11の11　高松大林ビル	Tel.087(834)6166
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀16の11　日本生命広島第2ビル	Tel.082(228)3821
福　岡	〒810-0001	福岡市中央区天神1の14の1　日本生命福岡ビル	Tel.092(761)4466
鹿児島	〒892-0846	鹿児島市加治屋町12の7　日本生命加治屋町ビル	Tel.099(225)1105
沖　縄	〒900-0015	那覇市久茂地3の1の1　日本生命那覇ビル	Tel.098(864)5396

1AG6P1P0756-A　　VT095301